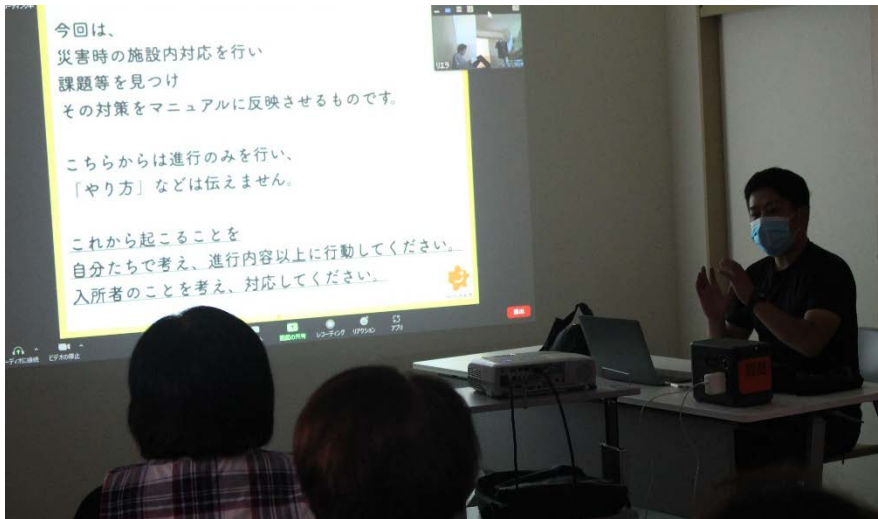


職員向け災害訓練を開催しました～緊急連絡・参集訓練編～

10月14日(木)

8月に引き続きの防災勉強会はNPO法人リエラのスタッフ、大分県社協の指導のもと、今回は出勤職員が少ない休日昼間を想定した訓練を行いました。震度6強の地震が発生し、職員の行動と連絡・参集体制を確立することを目的としました。休日、日勤職員は看護職員を含めて8～9名体制です。



- ① 安否訓練…公休職員の安否、地域や家屋の被害状況を確認する。
- ② 参集訓練…職員の被害状況を踏まえて、各職員が豊寿園に来て入所者、地域住民への災害対応参集が可能か確認する。

施設内何カ所かに震災被害を想定したお題があり、職員で実際に動いてお題をクリアしていきましました。お題は「厨房からのガス漏れ、ガラス・テレビの破損、タンスの下敷きになっている入所者や動揺により失禁して動けない入所者を避難誘導する、限られたライフラインは携帯と水道のみ」等、様々な箇所で提示されていました。

限られた人数の中で誰が指揮をとり、何を優先して動くのか、参集訓練ということで公休職員の安否確認と市役所や外部応援要請なども実際に訓練の中で実施し、難しさや気づきにより、たくさんの課題が見えてきました。

※併せてこの日は計画停電日でした



実際に居室の家具や共有部にはお題と共に被害にあったレイアウトをしました ↑



↑ 会議室を本部にして、図面とホワイトボードで情報把握を行い、応援に到着した職員参集と共に時間を決めて集まり、現状と今後の動きを情報共有しました。
(災害時の豊寿園担当…やすらぎ荘・岡川施設長/地域福祉課・松川係長にも協力依頼)

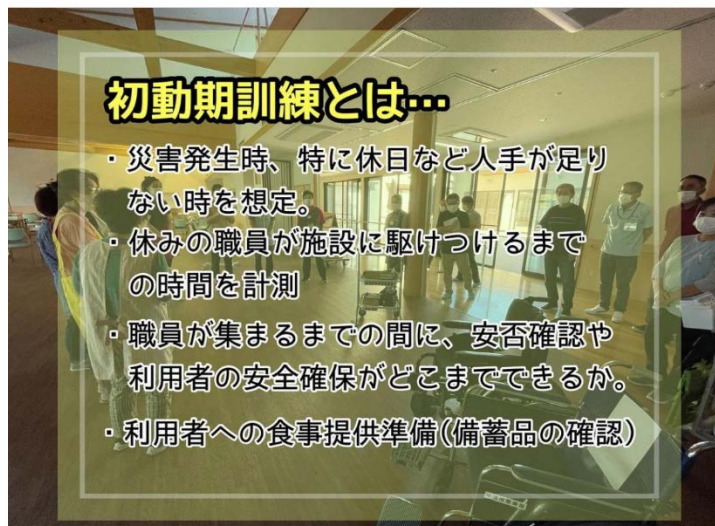


救出した入所者のバイタルチェックや処置を行い、避難した入所者の症状経過や確認した現場の状況などを図面やホワイトボードに書き込みました。



oita_kensyakyō

...



今年度は毎月1回
NPO 法人リエラ協力のもと
中津市役所高齢者福祉係と一緒に
福祉避難所運営マニュアルの策定に向け
「災害に強い豊寿園」を目指しています

↑ 今回の訓練をリエラスタッフのみなさんより
講評いただきました。
内容を振り返り、見えてきた課題を今後
震災時に解消できるよう参加職員で感想や
意見を出し合いました。



★ 今回の訓練の様子は、大分県社協のInstagramにも掲載されています。